

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート													
事務事業名		地域未来塾運営事業						予算事業名		地域未来塾運営事業費							
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令								
				10	05	03	22	経常経費									
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業							
		地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり															
		安心して学べる学校づくりの推進						担当課係等		生涯学習課							
事業期間		継続 (平成29年度～ 年度)										生涯学習係					
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
中学生の学習習慣の確立や基礎学力の向上を図るとともに、地域住民が学習支援を行うことにより、地域の教育力の向上と活性化を図る。								子どもの貧困対策に関する大綱 (平成26年8月29日閣議決定) に地域による学習支援が示された。小山市では、「学びの教室」として月2回土曜日の午後に公民館等3ヵ所で実施。									
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】									
・地域住民を学習支援員 (元教員、学習塾講師、教員希望の大学生等) として協力を得ながら、市内中学校に通学する中学生を対象とした学習支援を行う。 ・市役所、公民館を会場とし、学習支援員を配置する。各教室の連絡調整役として地域コーディネーター1人を配置する。 ・運営委員会の設置。委員11人。年2回開催。事業計画、安全管理、広報、ボランティア等人材確保、事業の検証・評価を行う。								市内中学生 地域住民									
								【事業をとりまく環境の変化】									
								近年、子供を取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子供たちが健やかに育つためには、学校・家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指す必要がある。									
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】									
・地域未来塾の開催 1年生 月曜日 午後7時15分～午後9時 2年生 土曜日 午後4時～午後6時 3年生 土曜日 午後1時30分～午後3時30分 自学教室 土曜日午後2時～午後4時50分 ・運営委員会の設置 (7月・3月)				・地域未来塾の開催 1年生 月曜日 午後7時15分～午後9時 2年生 土曜日 午後4時～午後6時 3年生 土曜日 午後1時30分～午後3時30分 自学教室 土曜日午後2時～午後4時50分 ・運営委員会の設置 (7月・3月)				・地域未来塾の開催 1年生 月曜日 午後7時15分～午後9時 2年生 土曜日 午後4時～午後6時 3年生 土曜日 午後1時30分～午後3時30分 自学教室 土曜日午後2時～午後4時50分 ・運営委員会の設置 (7月・3月)									
■事業費																	
				R02年度		R03年度											
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	0										
	県		支	出	金	0	889										
	地		方		債	0	0										
	そ		の		他	0	0										
	一		般	財	源	0	566										
歳入計 (千円)						0	1,455										
歳出内訳	節 (番号 + 名称)					金額 (千円)	金額 (千円)										
	07	報償費				0	1,292										
	10	需用費				0	17										
	11	役務費				0	146										
歳出計 (千円) (A)						0	1,455										
伸び率 (%)							皆増										
備考																	

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	開催回数		目標	12.00	108.00	108.00
	中1・中2・中3・自主学習コース各27回		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加生徒数		目標	100.00	70.00	100.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	生徒が定期的に未来塾に参加することで、学習習慣の定着及び学力の向上につながる。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	民間と連携をとりながら実施することも可能である。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	会場の検討及びサポーターの人材確保が課題となっている。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	各会場に学習支援員1名、学習サポーター2名以内を配置して実施しているが、受講生の参加数が1～4名程度を推移することが多く、人員効率は低い。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	市内中学校に通学する中学生全員が対象となっているが、「会場が遠方にある」「土曜日の午後は部活動がある」などの理由で参加できない生徒もいる。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	参加した生徒は、学習習慣が確立されるなどの成果が見られるが、運営委員会で反省点・改善点を検証し、さらなる成果向上を目指した活動を展開していく。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	学習支援員・教育活動サポーター・事務局が情報交換及び連携により計画的に進めているが、より多くの生徒が関心を持って参加できるよう、新たな企画を検討することも必要。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
参加した生徒は、熱心に学習に取り組んでおり、学習習慣の確立及び基礎学力の定着を図ることが出来た。 開催場所については、現在、各中学校を会場としているが、会場となる教室の安全対策等、教員の負担が増加している。また、受講生徒が継続して参加しようとする魅力ある事業とはなっていない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
令和元年度事業終了時に実施した受講生アンケート（令和2年度は中止）から、授業型での学習指導を望む回答が見られたため、自主学習型に加えて、民間の学習塾の講師による授業型の教室を開設する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 授業型の教室の開設など、受講生のニーズに合わせた教室を開設していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	